認知症介護実践者研修募集要項
オンライン開催版
２０２６年度　新カリキュラム対応

一般社団法人　全国個室ユニット型施設推進協議会

2026 年度　認知症介護実践研修について 1

目的 1
目標 1
日程 1
受講対象者 1
研修の内容 2
受講料 2
定員 2
使用テキスト 2
講師 2
スケジュール 3
オンライン受講の準備 3
受講申込から修了までの流れ 4
カリキュラム 5
スケジュール 6
修了認定について 8
　修了証書の再発行について 8

受講者変更および受講辞退について 9

受講者の欠席・遅刻・早退について 9
　その他の事情の場合 9

お問い合わせ先 9

2026 年度　認知症介護実践研修について

目的

この研修は、「認知症介護実践者等養成事業の実施について（平成 18 年 3 月 31 日、老発 0331010 号)」の一部改正について（令和 3 年 4 月 6 日、老発第 0406 第 5 号、厚生労働省老健局長通知）別紙「認知症介護実践者等育成事業実施要綱 4（2）に基づき、一般社団法人全国個室ユニット型施設協議会（以下、「本会」という。）が実施するものです。

高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とします。

目標

認知症の人の尊厳を尊重し、その権利を介護職の立場で擁護することができる。
認知症の原因疾患を理解したうえで、最善の介護方法を選択し実践することができる。
認知症の人の中核症状を理解し、行動・心理症状の軽減を図るうえでの介護を提供できる。
認知症の人の中核症状を理解し、本人の能力を生かした環境調整や介護技術を実践できる。
認知症の人の家族を支え、共に支援することができる。
認知症の人の社会資源を開発、活用したケアができる。
認知症に関する最新知識（薬、予防、制度、サービスの動向）を理解し、介護の場面で実践できる。
これらの実践事例を解決するためのアセスメント及びケアプランを作成し、実行、評価することができる。

日程

スケジュール（P. 2）にてご確認ください

受講対象者

以下の要件を満たす者

（１）　認知症介護基礎研修を修了した者あるいはそれと同等以上の能力を有する者
（２）　アセスメント・実践計画を検討する事例を準備できる者
（３）　所在地が横浜市内および全国の介護保険施設、事業所等において、以下のいずれかのサービスの業務に従事しており、所属長から当該研修の受講について許可を受けた者
　（ア）　居宅サービス（イ）施設サービス（ウ）地域密着型サービス（エ）介護予防サービス（オ）地域密着型介護予防サービス（カ）居宅介護視線（キ）介護予防支援
（４）　インターネット接続環境（パソコン、ネット環境、受講者本人の接続スキル、Web カメラやマイク等の機器など）がある者

研修の内容

（１）前期研修	２日間
（２）職場内で実践展開	インターバル期間（自施設で課題に取り組む）
（３）後期研修	２日間
（４）実習	４週間（自施設での職場実習）
（５）実習報告会 （オンライン）	３時間

受講料

会員　33,000 円　非会員　49,500 円

定員

100 名

使用テキスト

カリキュラムに基づいて講師が作成した資料を使用する。

※参考図書「認知症介護実践者研修標準テキスト」監修：認知症介護研究・研修センター

講師

本研修の講師は、認知症介護指導者が努めます。

スケジュール

	日程
募集期間	2026 年 5 月 1 日（金）　～　2026 年 8 月 24 日（月）
座学研修 （4 日間） オンライン開催	9 月 8 日（火）、9 月 9 日（水）10 月 1 日（木）、10 月 2 日（金）
職場実習 （約 4 週間）	10 月 3 日（土）　～　10 月 31 日（土）
実習報告会 （3 時間） オンライン開催	11 月 10 日（火）

オンライン受講の準備

講義および報告会はオンラインで実施いたします。

オンライン受講のために受講者一人あたり以下の機器類等を準備ください。

- ✧ ウェブカメラ付きのパソコンまたはタブレットの機器類
  ※1 台の機器で複数名の受講は不可とします。
- ✧ インターネット接続環境（有線を推奨）
- ✧ 会議室や休憩室など、研修に集中でき、また声を出しても周囲への迷惑にならない環境
  ※研修ではグループワークを実施いたします。複数名の受講者がいる場合、同じ部屋で受講されますと、グループディスカッションの際に会話が聞き取りにくい状況となります。複数名で受講される場合は必ず別の部屋で受講するようお願いいたします。
- ✧ ヘッドセットまたはイヤホン（あれば望ましい）

受講申込から修了までの流れ

オンライン申込	本会のホームページ（https://suishinkyo.net）よりお申込ください。 ※オンライン申込が難しい場合は、事務局までお問い合わせください。 申込締め切り後、受講票と請求書をメールでお送りいたします。
受講料振込	受講料をお振込ください。
受講票の提出	受講票を事務局までご提出ください。
座学受講	オンライン受講（職場やご自宅でご受講ください）
職場実習	自施設での実習
課題提出	実習報告会で報告する書類一式を DROPBOX へアップロードまたはコピーをご郵送ください。原本をご自身で保管ください。
実習報告会	オンライン報告会（職場やご自宅でご受講ください）
修了証書発送	修了証書を事務局から施設宛に発送いたします。

カリキュラム

	科目名		時間数
1 日目	1 認知症ケアの基本	(1) 認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	180 分
		(2) 生活支援のためのケアの演習 1	240 分
2 日目			60 分
		(3) QOL を高める活動と評価の観点	60 分
		(4) 家族介護者の理解と支援方法	90 分
		(5) 権利擁護の視点に基づく支援	90 分
		(6) 地域資源の理解とケアへの活用	120 分
3 日目	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践	(1) 学習成果の実践展開と共有	60 分
		(2) 生活支援のためのケアの演習 2（行動・心理症状）	240 分
		(3) アセスメントとケアの実践の基本	120 分
4 日目			180 分
	3 実習	(1) 職場実習の課題設定	240 分
実習期間		(2) 職場実習（アセスメントとケアの実践）	4 週間
報告会		(3) 職場実習評価	180 分

講義は認知症介護指導者が担当します。

スケジュール

	研修科目名	時間	形式	目的・目標
1日目	オリエンテーション	8:50～9:00		認知症介護実践者等養成事業及び実践者研修の目的を理解する。
	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 （180分＋休憩10分）	9:00～12:10	講義	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症のケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発症要因、認知症ケアの論理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。
	昼休み（50分）	12:10～13:00		
	QOLを高める活動と評価の観点 （60分）	13:00～14:00	講義 演習	認知症の人の心理的安定やQOL（生活・人生の質）向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。
	休憩（10分）	14:00～14:10		
	家族介護者の理解と支援方法 （90分）	14:10～15:40	講義 演習	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。
	休憩（10分）	15:40～15:50		
	権利擁護の視点に基づく支援 （90分）	15:50～17:20	講義 演習	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。
	1日のレビュー	17:20～17:30		研修取組みや自己の振り返り
座学 2日目	オリエンテーション	8:50～9:00		
	地域資源の理解とケアへの活用 （120分）	9:00～11:00	講義 演習	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。
	休憩（10分）	11:00～11:10		
	生活支援のためのケア演習1 （90分）	11:10～12:40	講義 演習	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。
	昼休み（60分）	12:40～13:40		
	生活支援のためのケア演習1 （150分+休憩10分）	13:40～16:20	講義 演習	
	休憩（10分）	16:20～16:30		
	生活支援のためのケア演習1 （60分）	16:30～17:30	講義 演習	
	1日のレビュー	17:30～17:40		研修取組みや自己の振り返り
座学 3日目	オリエンテーション	8:50～9:00		
	学習成果の実践展開と共有 （60分）	9:00～10:00	講義 演習	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。
	休憩（10分）	10:00～10:10		
	生活支援のためのケアの演習2 （120分）	10:10～12:10	講義 演習	認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。
	昼休み（40分）	12:10～12:50		

	研修科目名	時間	形式	目的・目標
	生活支援のためのケアの演習2 （120 分）	12：50～14：50	講義 演習	
	休憩（10 分）	14：50～15：00		
	アセスメントとケアの実践の基本 （120 分−休憩 10 分）	15：00～17：10	講義 演習	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。
	1 日のレビュー	17:10～17:20		研修取組みや自己の振り返り
座学 4日目	オリエンテーション	8:50～9:00		
	アセスメントとケアの実践の基本 （180 分＋休憩 10 分）	9:00～12:10	講義 演習	
	昼休み（40 分）	12:10～12:50		
	職場実習課題設定 （240 分＋休憩 20 分）	12:50～17:10	講義 演習	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。
	1 日のレビュー	17:10～17:20		研修取組みや自己の振り返り
職場実習	自施設実習 （アセスメントとケアの実践）	4 週間	実習	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。
実習 報告会	オリエンテーション	8:50～9:00		
	自施設実習評価 （180 分＋休憩 20 分）	9:00～12:20	演習	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。

修了認定について

研修を修了した受講者には、本会より修了証書を交付します。
受講中、以下のような行為が見受けられる場合や研修指導者の注意に従わない場合には、受講取消、または修了を認めない場合があります。

①他の受講者、研修会場に迷惑をかける行為
②研修の円滑な実施を妨げるような行為
③研修態度が好ましくない場合

修了証書の再発行について

再発行の手続をされる場合には、事務局までご連絡ください。
再発行手数料として、3,000 円請求させていただきます。

受講者変更および受講辞退について

事務局までご連絡ください。

受講者の欠席・遅刻・早退について

研修受講期間中に欠席・遅刻・早退があった場合は、研修を修了したと認められませんので修了証書の発行はいたしません。また、その際の受講料の返金はいたしません。
ただし、受講者の責に帰さない、やむを得ない事情であると本会が判定し、かつ、以下の手続がなされた場合はこの限りではありません。

その他の事情の場合

① 受講者は理由を証明する文書を本会にご提出ください。
② 未受講の講義について、本会の指定する、課題の実施・提出、研修の受講等を行ってください。

お問い合わせ先

一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会　事務局
〒222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜 3-20-8　ベネックス S-3・４階
TEL：045-577-4212　／　FAX：045-577-4213
Mail:info@suishinkyo.net　　URL:https://suishinkyo.net